

秋の火災予防運動	2
承継から1年(世田谷駅前)	3
女性活躍推進(三軒茶屋銀座)	4

商店街ニュース

(令和6年) 2024年11月5日
(毎月5日発行)

都振連調査研究事業「防災に関する意識調査」



東京都商店街振興組合連合会が都内住民を対象に今夏実施した「防災に関する意識調査」で、自宅での防災・減災の取り組みを行っているのは全体の4割で、「取り組んでいない」「対策が分からない」が6割にも及んでいることが分かった。また、商店街に対しては自宅で実施する災害対策の充実を求めていることも判明した。

自宅で「防災・減災」4割 商店街設備の提供求める声も

この調査結果は都振連の「令和6年度商店街活性化推進調査・研究事業」に基づき設置された研究委員会がまとめたもの。年初から地震や記録的大雨などの災害が各地で起こり、防災への関心が高まっていることを受け、防災・災害対策をテーマに2カ年計画で調べる。今年度は対象者を地域住民とし、1,200人から回答を得た。都連の六つの会員フロック別と世帯別のクロス集計も実施した。来年度は商店街を対象にアンケートを実施する予定だ。

この調査結果は都振連の「令和6年度商店街活性化推進調査・研究事業」に基づき設置された研究委員会がまとめたもの。年初から地震や記録的大雨などの災害が各地で起こり、防災への関心が高まっていることを受け、防災・災害対策をテーマに2カ年計画で調べる。今年度は対象者を地域住民とし、1,200人から回答を得た。都連の六つの会員フロック別と世帯別のクロス集計も実施した。来年度は商店街を対象にアンケートを実施する予定だ。

「被災者にトイレ・水道など商店街内の設備を提供する支援制度」や生活支援物資を商店街の店舗から直接提供する支援制度」を望んでいることが分かった。また、一部の商店街で実施している防災フェアや、防災に関する啓発活動についての評価を聞いたところ、「良い」と回答した割合が全体の6割を超えた。一方で、「もっと発信して知らせてほしい」との声が3割強あり、周知活動が行き届いていないことも浮き上がった。

カスハラ防止条例成立 来年4月1日施行へ

東京都のカスタマーハラスメント防止条例が10月4日の都議会本会議で可決され、成立した。カスハラを防止する条例制定は全国で初めて。2025年4月1日に施行する。

条例では「社会全体でカスタマーハラスメントの防止を図るとともに、その防止に当たっては顧客等と事業者が対等の立場において相互に尊重することを基本理念とする。カスハラを「顧客等から事業者に対し、その業務に関する行われる著しい迷惑行為であって、就業環境を害するもの」と定義し、「何人も、あらゆる場において、カスタマーハラスメントを行ってはならない」と禁じた。正当なクレームを排除しないよう「顧客等の権利を不当に侵害しないように留意しなければならない」とも明記した。各主体の責務については、①都はカスハラ防止に関する情報の提供等②顧客等は事業者に対する言動に必要な注意を払うよう努める③「事業者」はカスハラ防止に資する行動をとるよう努める④事業者はカスハラを受けた就業者の安全を確保し、顧客等に対し中止の申し入れ等の措置を講ずるよう努めるとした。都は今後、カスハラ防止に関する指針を作成・公表するとしており、10月28日には第2回のガイドライン等検討会議が開催されている。

山田理事長は委員への感謝を述べた後、地元・墨田区の水害リスクの高さに触れ、住民の関心事になっていると指摘。「このように足元から調べたデータは非常にありがたい。資料としても取れる情報は何よりありがたいと評価した。端的に数字で示して、記重。商店街が備蓄基地として機能すれば喜ぶ連サイトでももらえると思うの(QR)で、次年度はそれについて、

賀詞交歓会
1月7日(火)

東京都商店街振興組合連合会
東京都商店街連合会、合同新年賀詞交歓会を2025年1月7日(火)午前11時から、新宿区西新宿の京王プラザホテルで開催します。
会費は一人一万円です。
ぜひご参加ください。

経済の好循環 創出へ 「商店街の活性化」推進

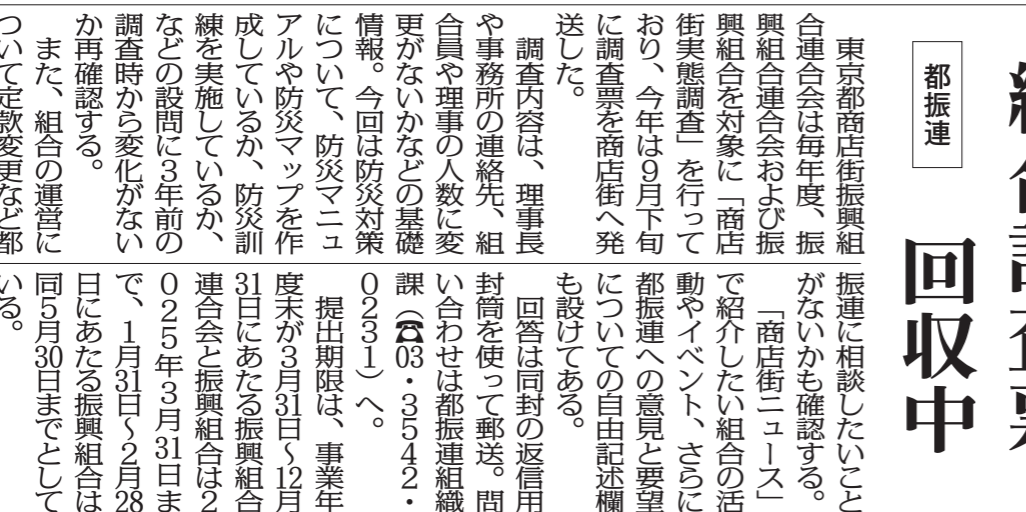
東京都中小企業振興有識者会議
費の高騰対策や、QRコード決済によるポイント還元キャンペーンなどで総額377億円の補正予算を編成したと報告。為替、資材の高騰、食料品を含む物価高騰など、企業を取り巻く環境は厳しさを増しているが、そこにチャンスを見いだせるよう後押しを進めていくと述べた。また、事業承継の取り組みについても「危機的な意識を持ちながら答えを出していきたい」と意欲を示した。

秋の七草の一つ「ススキ」は季節の風情に欠かさない。イネ科に属し、別名は「オバナ」「カヤ」。およそ15種類の穂で銀色に光る部分は「芒」と呼ばれ、これが風に飛んでタネを飛ばす。



2024年度第2回経済団体メンバーや学識者らが意見を出し合う場で、東京都商店街振興組合連合会からは委員として山田昇理事が出席した。会議の冒頭で小池百合子都知事は、10月4日に閉会した都議会第3回定例会にて、燃料

向島 風は銀色 ススキの小道



組合調査票 回収中

東京都商店街振興組合連合会が毎年、振興組合会におよび振興組合を対象に「商店街ニュース」で紹介した組合の活動やイベント、さらに都振連への意見と要望についての自由記述欄も設けてある。